

2014 年 1 月 16 日

報道関係各位

一般財団法人 阪大微生物病研究会

乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」の国内併売の開始について

一般財団法人阪大微生物病研究会（所在地：大阪府吹田市、以下「阪大微研会」）は、乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」（一般名 乾燥弱毒生水痘ワクチン）（以下、「水痘ワクチン」）について、1986 年 9 月に承認を取得して以降、田辺三菱製薬株式会社を販売元とし、製造販売を行ってまいりました。

今般、厚生労働省より水痘ワクチンの定期接種化の方針が示されたことから、阪大微研会は、国内唯一の製造販売元として、需要の増加に対応すべく、生産体制を強化し、一層の安定供給を行ってまいります。

また、定期接種化を踏まえ、従来の田辺三菱製薬株式会社に加え武田薬品工業株式会社を新たな販売元とし、両社の併売のもと、万全の態勢で供給を開始する予定です。

水痘ワクチンは、阪大微研会において開発され、世界で唯一、安全性及び有効性において WHO が認めた弱毒水痘ワクチン（岡株）で製造されています。

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルス（以下、「VZV」）によって起こる感染症で、このウイルスの感染力は非常に高く、90%以上の人が10歳までに発症すると報告されています。VZVに自然感染した場合、一般的には軽症で経過しますが、小児では肺炎、気管支炎、熱性痙攣、細菌感染症等の合併症により入院を要することもあり、急性白血病などの悪性腫瘍患者や、治療等により免疫機能に障害をきたしている者では重症となり、致命的となることも少なくありません*。

阪大微研会は、これまでも新しいワクチンの研究・開発、安定供給を通して、公衆衛生の向上に貢献して参りました。今回の水痘ワクチンが定期接種化されることにより、小児期の重症水痘を含めた水痘の予防に貢献できるものと期待しており、有効で安全なワクチンを、より一層多くの人々に届けられるよう努めたいと考えております。

*：国立感染症研究所、水痘ワクチンに関するファクトシートより

以上

<お問い合わせ先>

一般財団法人 阪大微生物病研究会 管理本部総務部業務課（担当：小橋）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1

TEL：0875-25-4175 FAX：0875-25-4437